

財政健全化計画等執行状況報告書

1. 基本的事項

団体名	新得町	会計名	公共下水道事業特別会計	団体担当者	安達貴広
承認年度	平成19年度				

2. 判定結果

項目	計画最終年度(又は改善額合計)			計画前年度実績(又は補償金免除額)		類型
	目標値	実績見込値	乖離値	実績値	乖離値	
① 地方債現在高						
② 実質公債費比率						
③ 職員数	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0	a
④ 改善額	133.0	126.0	▲ 7.0	72.0	54.0	c
⑤ 公営企業債現在高	1258.0	1260.0	▲ 2.0	2450.0	1,190.0	c
⑥ 累積欠損金比率						
				総合判定		c

3. その他

(i) 計画及び前年度執行状況の公表状況

計画:平成19年 3月 8日 公表 (HP) 広報紙・その他【 】)
 執行状況:平成23年9月 公表 (HP) 広報紙・その他【 】)

(ii) 計画及び前年度執行状況の議会への説明

計画:平成 年 月 説明
 執行状況:平成 年 月 説明

(iii) 平成23年度提出予定の旧資金運用部資金の補償金免除繰上償還に係る財政健全化計画等

- 財政健全化計画
- 公営企業経営健全化計画
- 水道事業 ()
 - 工業用水道事業
 - 都市高速鉄道事業
 - 下水道事業 ()
 - 病院事業
 - 介護サービス事業
- 提出予定なし

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

Blank area for details regarding the reasons for performance (forecast) values not meeting the plan target values and any unavoidable circumstances.

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

Blank area for details regarding measures for improvement and future outlook.

(v)改善方針の進捗状況

Blank area for details regarding the progress status of the improvement policy.

団体名	新得町
会計名	公共下水道事業特別会計

④ 改善額

類型	C
----	---

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	改善額合計	補償金免除額
計画目標値(A)	13	22	32	33	33	133	72
実績(見込)値(B)	17	22	26	31	30	126	
乖離値(C) (B-A)	4.0	0.0	▲ 6.0	▲ 2.0	▲ 3.0	▲ 7.0	54.0
乖離率(D) (C/A)	30.8%	0.0%	-18.8%	-6.1%	-9.1%	-5.3%	75.0%
	17444	21954	25572	30737	29934		

(ii) 要因分析

計画最終年度における未達成の要因	影響額(単位:百万円)						備考	やむを得ない事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	合計		
料金改定時期の1年延長			9			9		11
料金改定率の減(計画20%→10%)				7	6	13		22
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
合計	-	-	9	7	6	22		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

計画策定時に平成21年度に20%の料金改定を計画していたが、平成20年度の上下水道事業審議会(諮問機関)に置いて厳しい社会情勢に鑑み、平成21年度の料金改定を1年見送るとの結論に達し、議会についても同様に22年6月1日からの施行と議決された所である。
また、改定率については平成22年度の下水道料金改定時に上水道料金も10%の改定を行うため、住民負担を考慮して下水道料金の改定も10%としたところである。
今後も下水道事業の効率化とともに、下水道料金の検証を行い料金の改定を行う。

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

22年度に提出した改善方針に基づき、今後も同様に取組を継続する。

- ・ 維持管理費の適正化のため、下水道処理場の管理委託料等の削減(複数年契約(3年毎))を行い改善を図っている。
- ・ 上水道料金未納者に対する給水停止を行っている。滞納者は上下水道料ともに滞納している場合がほとんどであるため、あわせて収納率の向上に向け取り組みを継続する。
- ・ 下水道区域内で未接続となっている世帯に対し、周知を行い接続の増加を図り料金収入に努める。

(v)改善方針の進捗状況

- ・ 下水道処理場の管理委託料の削減(複数年契約(3年毎))について、現在平成21年度からの3カ年間契約で委託しているところである。22年度の削減効果額は6.0百万円強であり、管理委託料を含めた施設維持管理費の22年度改善効果額は7.3百万円。23年度については6.5百万円程度を見込んでいる。
- ・ 収納率の向上に向けた取り組みとしては現在、分納相談や相談に応じない上水道料金未納者に対する給水停止を行うとともに、最終的には裁判所に支払督促の申立や通常訴訟まで実施し、上下水道料金あわせでの回収に努めている。
目標値に設定した現年度分収納率99.5%は21年度は99.6%とクリアしたが、22年度は99.2%と低下してしまった。今後とも収納率を低下させないよう取り組みを続ける。なお、滞納繰越分については新規発生を抑制するとともに、全額回収を目指しているところであり、22年度末未収額は18万円強まで圧縮しているところである。
- ・ 下水道区域内で未接続の世帯については、高齢世帯が多く住宅に新規に投資する意欲が薄い面があるが、排水設備の老朽化にあわせ接続を推進しているところである。22年度については9件の未接続の解消が図られ、23年度については現在4件である。

団体名	新得町
会計名	公共下水道事業特別会計

類型	C
----	---

⑤ 公営企業債現在高

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)	2,081	1,741	1,426	1,359	1,258	2,450
実績(見込)値(B)	2,106	1,796	1,452	1,357	1,260	
乖離値(C) (A-B)	▲ 25	▲ 55	▲ 26	2	▲ 2	1,190
乖離率(D) (C/A)	-1.2%	-3.2%	-1.8%	0.1%	-0.2%	48.6%

(ii) 要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響額(単位:百万円)					備考	やむを得ない 事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
施設設備の延命による建設改良費の圧縮のための施設長寿命化計画推進に伴う新発債発行(H23)による起債残高の増					2		18
合計	-	-	-	-	2		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

本町に2施設ある終末処理場施設において、新得終末処理場が供用開始から25年、屈足終末処理場が16年を迎え、それぞれの各機器の誤作動、故障の多発等で維持管理に支障を及ぼしているところです。

設備機器の更新等による建設改良費の増加を防ぎ、企業債残高の圧縮を図るために、平成22年度に施設長寿命化基本計画を策定し施設設備の延命を推進するべく計画を進めております。平成23年度においては当該事業の新発債を発行する予定であることから、計画に対し最終年の起債残高の増加となったものです。

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

長寿命化計画の推進による建設改良費増加防止と、企業債残高の圧縮を図る。

平成22年度に長寿命化基本計画策定。平成23年度は実施設計に着手し、計画的な施設設備の長寿命化に取り組んでいる。

(v)改善方針の進捗状況